

見習い仙女の 妖魔退治 四







ご気分は
いかがですか？

お師匠様



……
スイレン……



一番効くでしょ



ごめんなさいね

こーゆうのは
趣味では
ないのだけど

お師匠様の
固い固い
お口を割るにはー




お師匠様


ねっ



フフフッ

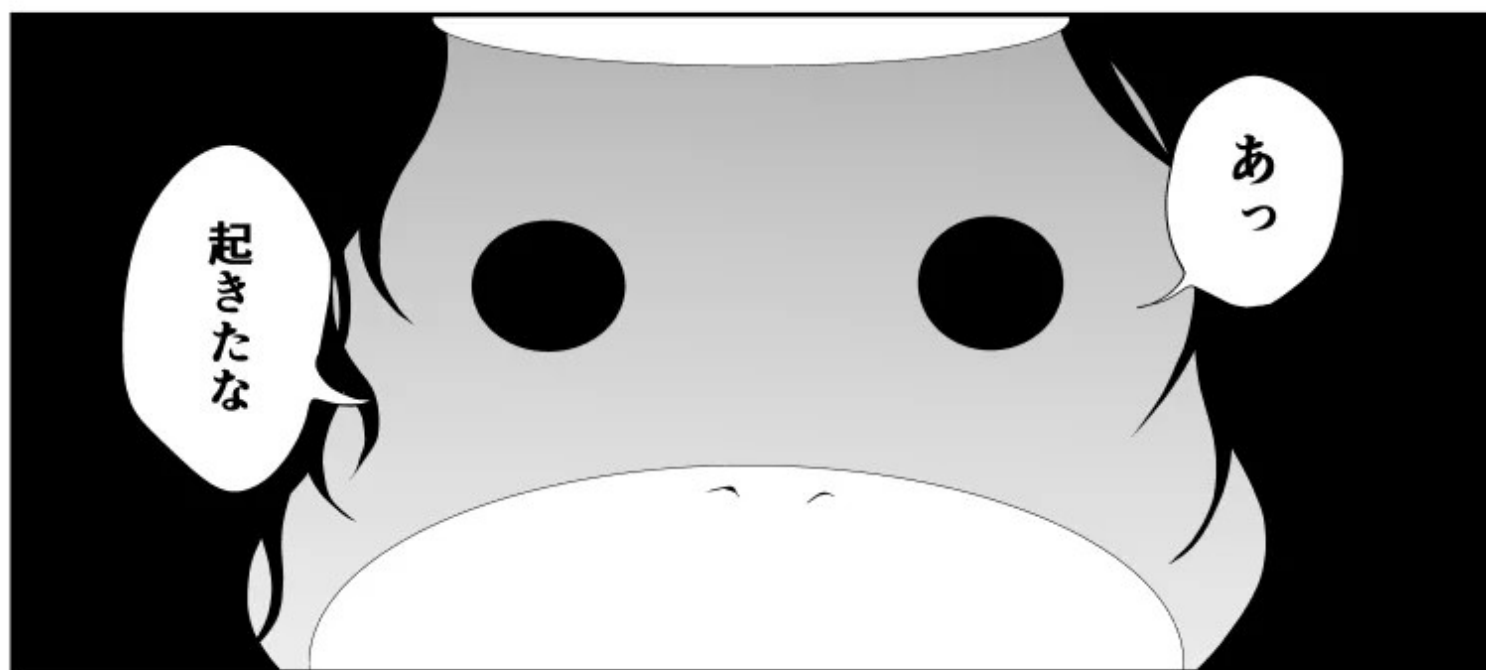


あ
相も変わら
ず
お寝坊さん
ね



起
床の
時
間
よ

メイ
ヘイ
美
黒





…

まんまと
してやられたと
いうことじゃよ
師匠と
弟子が
揃って！



…元…
…弟子…

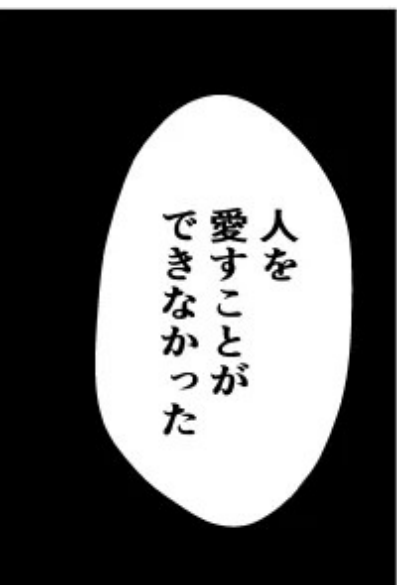


破門された
元弟子の
スイレンにの



スイレンは
戦の孤児での
仙女の才が
あるということ
天界から
目をつけられ

自分が修行を
つけること
になった

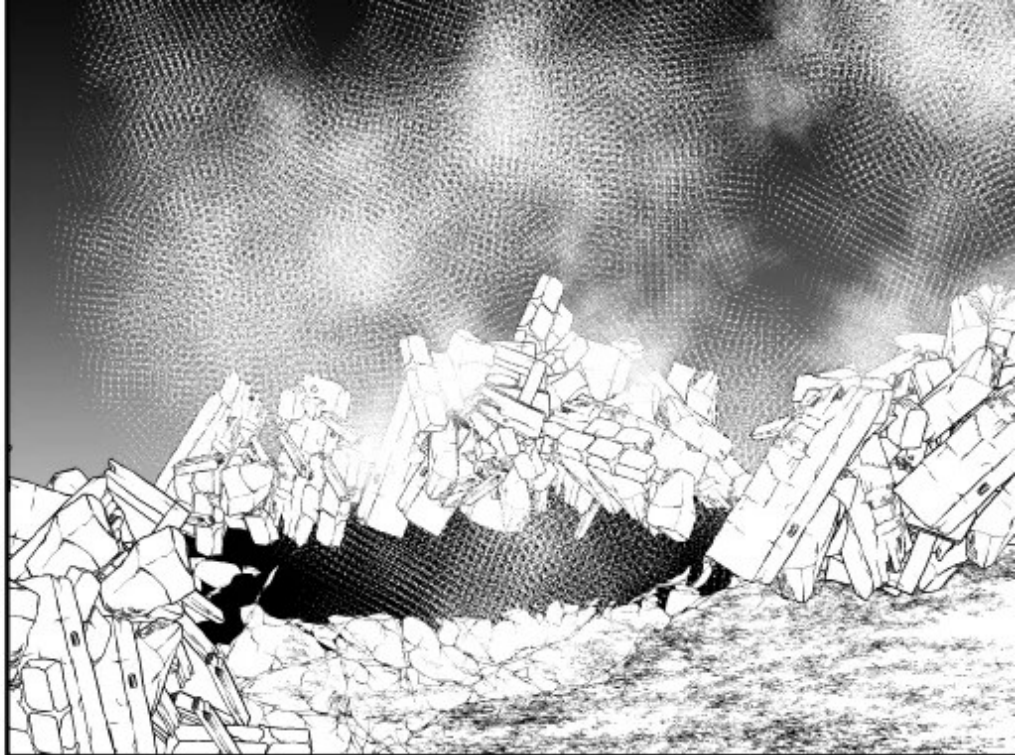
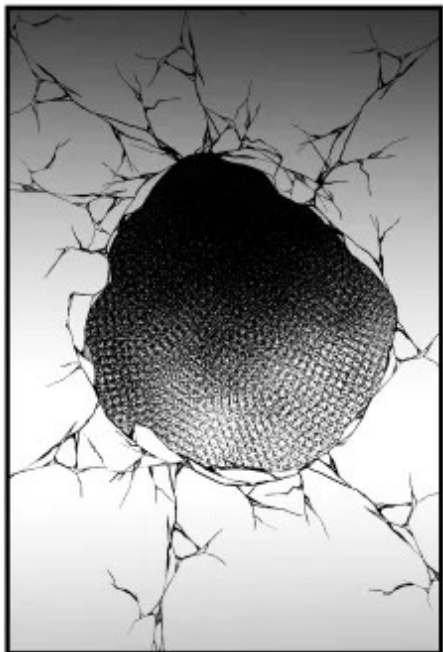


人を
愛すことが
できなかった



だが

スイレンは
本当に
天才じゃった
仙術も
気の扱いも
すぐに
モノにした



こんな所に
隠してたんだ

へえ



仙人は
人を聡し
導く存在

スイレンは
ワシの
その教えだけには

理解を示すことは
なかった

そして
奴は姿を
くらました

風の噂で
生きているのは
耳にしたが

ワシの宝具を
狙って
くるとは……



このザマじゃ

そんな事は
させまいと
戦ったがー



……
無論
むろん



この拘束具
気がまいったく
練れん

おかげで
仙術も使えんわ



前回の件
ちゃんとお礼をと
思ってたな

コレ
おみやげ

あらあら
すいませんね

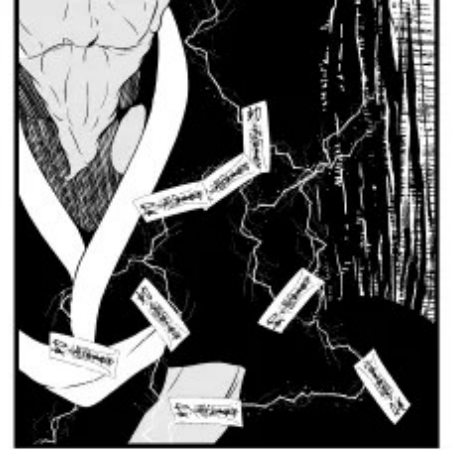
それは
ご丁寧な
どうも

……
メイメイ
美黒
……



困り果てた所に
その河童が
来てくれたの

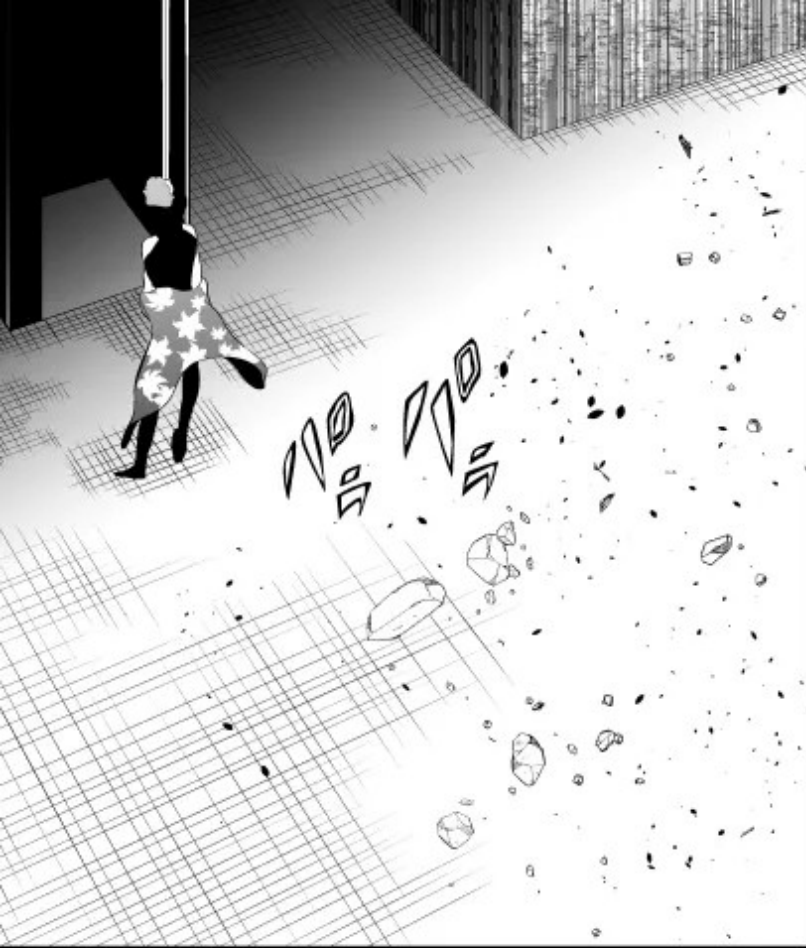
河童です





行ってくる







せん
にん
しょう
仙人掌



むげんほうよう
夢幻泡影



師匠……

コレを
使わせるとは

アレは……

黄風を
起こす宝具



確か
黄風怪とかいう
妖魔が持っていた筈

見習いの
半鐘モンが

アタ
十分

退治されたの？
風怪

いや
そんなことより

残念
だったな

お師匠様め

パ・ラ・したな……

幻術でしょ？

アンタの
能力

あの
花の化け物も
師匠の死体も
全部偽物

そしてその
能力の起因は

煙



ならこの宝具で
その煙ごと
吹き飛ばせば

能力は
発動できない

.....



思えば
アンタと
初めて
会った時から

そこらじゅうに
煙が充満してた

人のこと
小娘呼びして
煽っというて
仕込みは
バッチリって



良い性格してますね

クソババア





ソレは

日出ずる国より
大陸に渡ってきた

呪われし
封印されし
宝具

くそッ!

挑発に乗るフリして
本命はソッチだったか

——とに
いい性格
してるわ

その封印が

解かれた



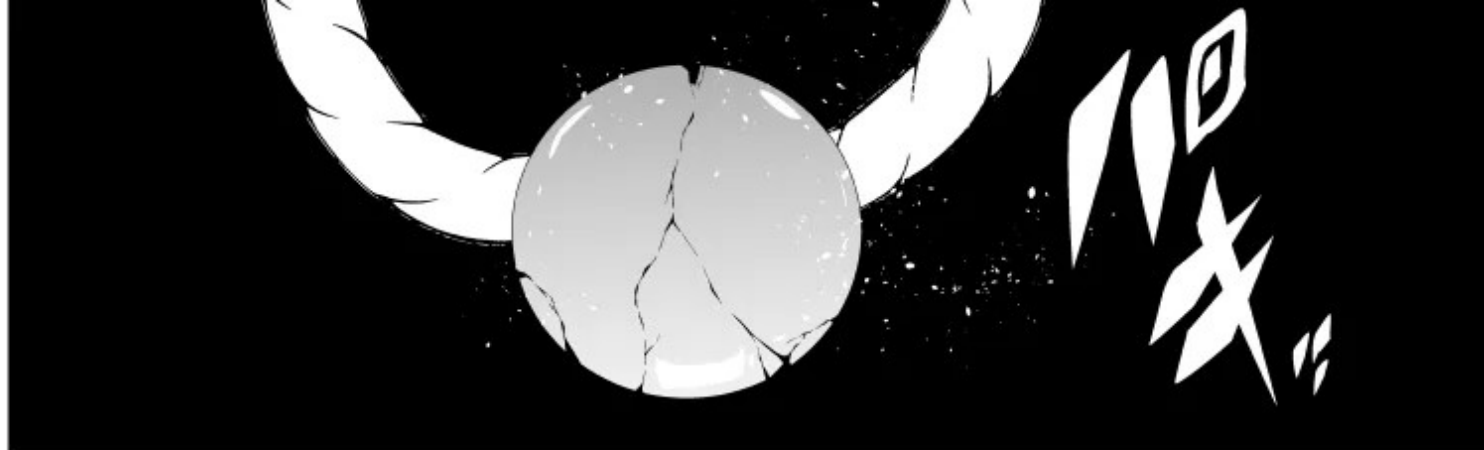
芭蕉扇 ばしやうせん







がっ!!





あッ...

うあ...

あら

終わり？

マズい……

あの宝具も
風を操れるのか……

しかも
威力も範囲も
桁が違う


上位互換も
いらとこじゃん

……どうする？



なんだ

元気じゃん



ひとたび
仰げば
風を呼び

ふたたび
仰げば
曇を呼び

みつつ
仰げば
雨が降る



違う・・・
これは風を
操るんじゃないくて

あッ

うえ・・・

天候を――

あッ

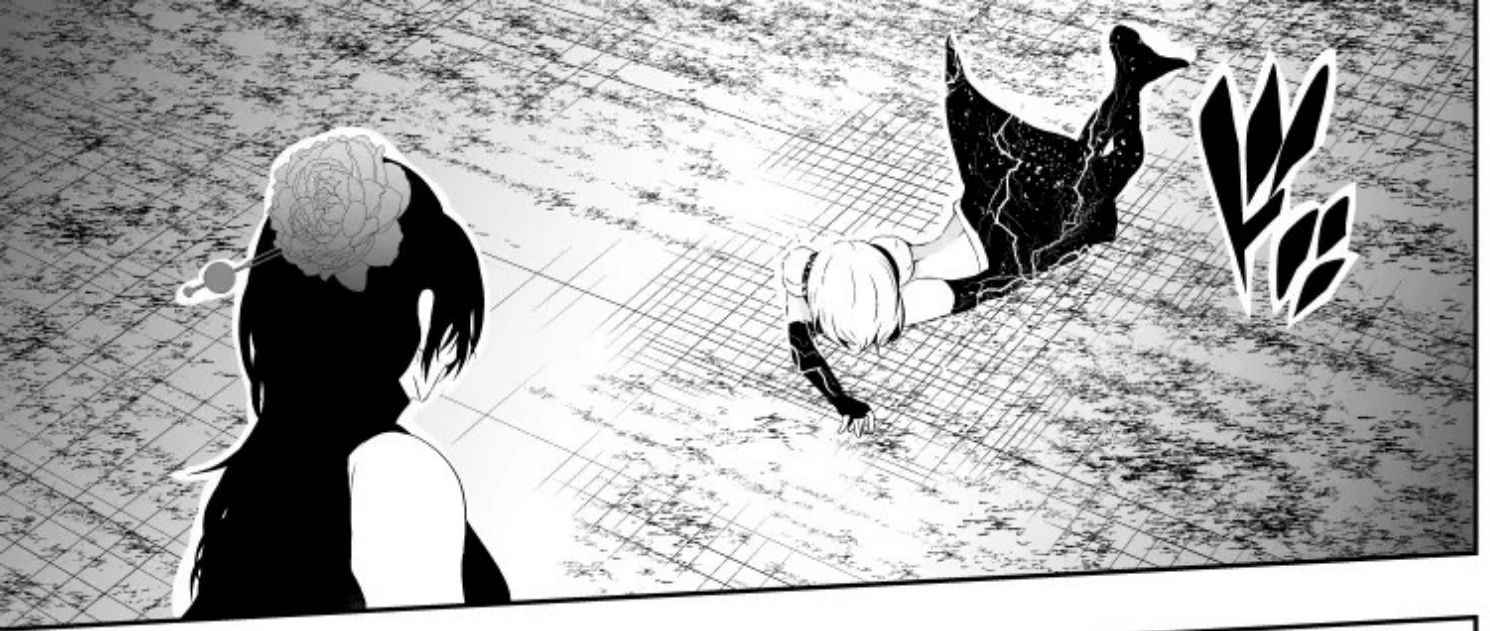




ぐろ...ッ

ギョ...







煙が充満して
いることに

気付けない



しまっー

仙人掌

梦幻泡影



らびっ!!

ワッ
ッ
ッ

こんな
幻術ごときにッ!!

いくら
足掻こうとも

実体のない
幻に囚われた
時点で
アナタは
夢の中

夢幻の
快楽にオチて
いきなさい

あう

ああああ

あう

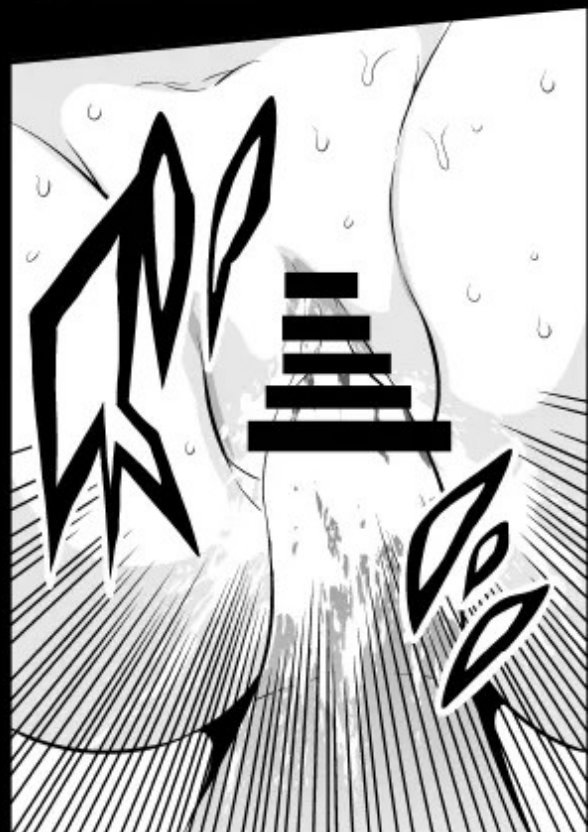
あう あう

あう あう

あう あう

あう あう







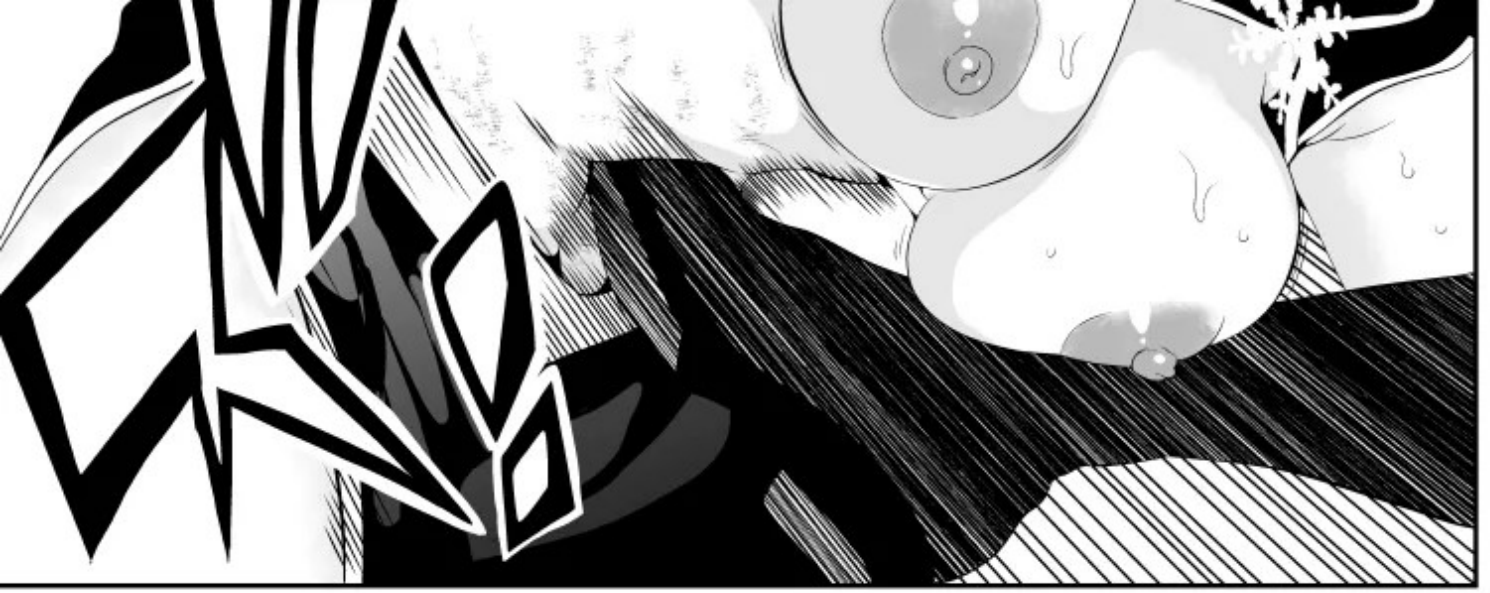
...う

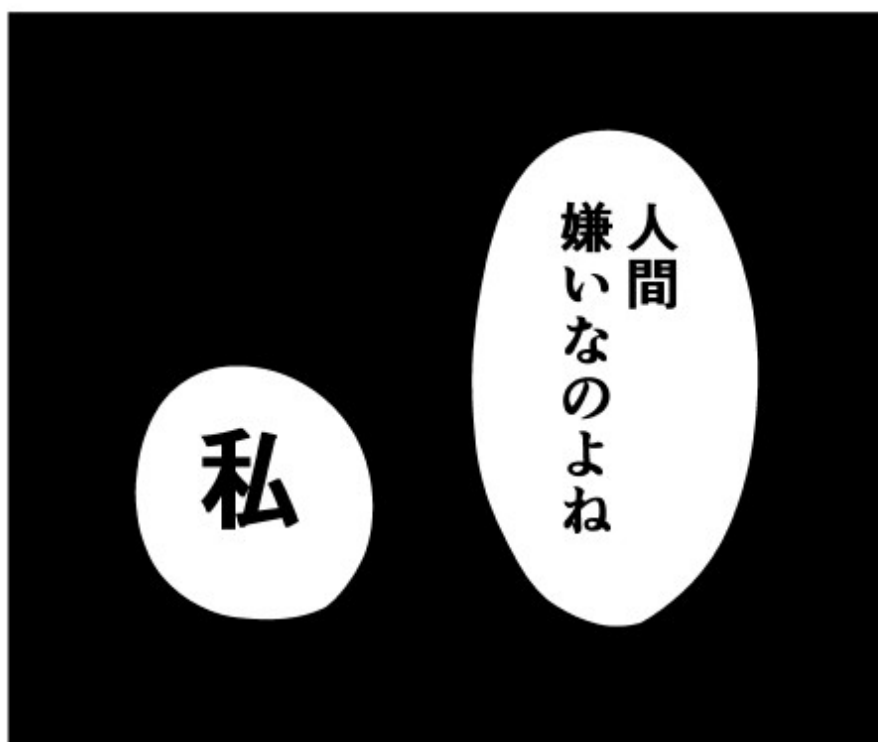
うう

うううう

うううう







別に人間に
恨みとかは
ないのよ

生まれ持った
モノなのかな

生理的に
無理

でも
好きになる為
に頑張ったのよ

仙女になって
百年以上かけて
寄り添って
尽くしたけど

無理だった

私に
人間は
愛せない

そうなると
辛いわよ

世の中から
はじき出された
気分

だからね





アナタも
私と似たような
モンじゃない

ぐあッ

がっ



がっ……ッ

あッ

……は？



アナタは
雷を操る
妖魔と戦った時

河童の
妖魔と
協力して
倒した

行動原理が
妖魔の為とも
言ってもいい



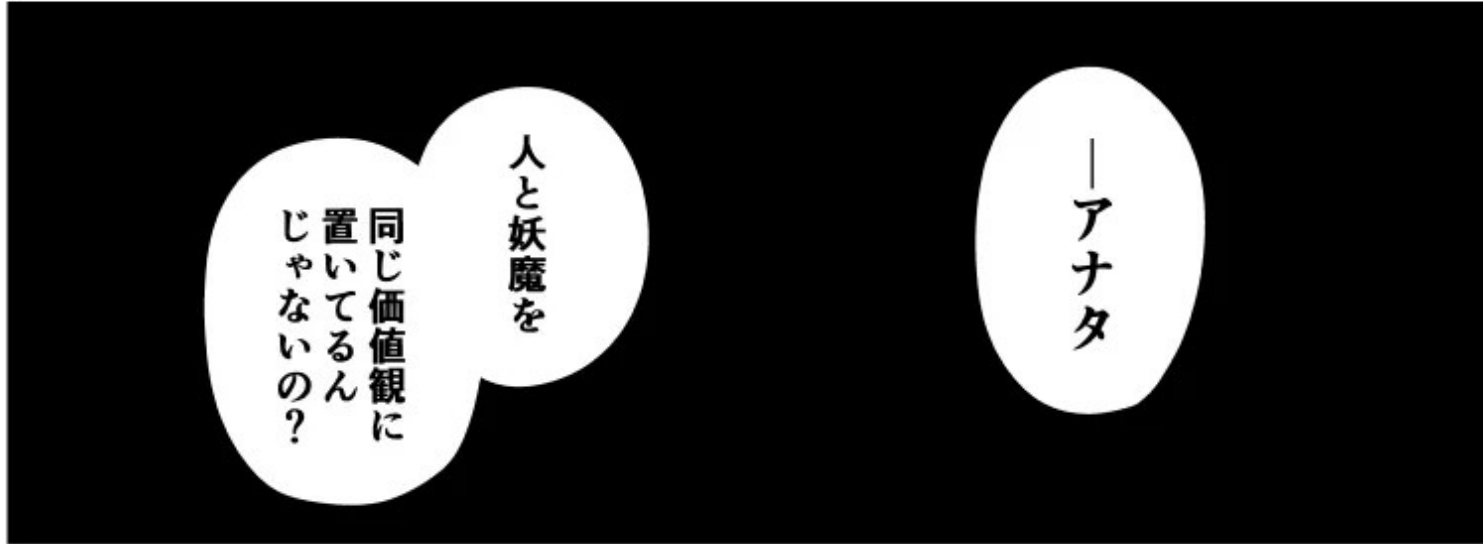
仙人は
“人”を聡し
導くこと

そこに
“妖魔”は
含まれて
ないでしょ



…それが

なに？



—アナタ

人と妖魔を

同じ価値観に
置いてるん
じゃないの？



そうだけど



?





どう？

直接この宝具の
呪詛を
送り込まれる
感触は

がッ!!

えろ!!

お
お
お
お



“気”を扱う
仙人の私達に
とっては
呪詛なんて

ぎっ…

ッッ

“気”の流れを
悪くする
毒みたいなモン
だからね



このまま呪詛を
流しこんだら
どうなるのか…

ちよつと
興味があるかも



真っ黒に染まって
妖魔に
なったりして♪



…そういえば

















.....
なに



ソレ






ツツ!!

おつ!!









妖魔に
育てられた
人間じゃ……

ATTENTION

禁止

PLEASE

無断転載/AI学習

Do not reproduce my artwork
elsewhere without authorization
or use it for AI purposes

ご購入
ありがとうございます



※この物語はフィクションです。
実在の人物・事件などにはいっさい関係ありません。
本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。
尚18歳未満の閲覧 購買は禁止です。

サークル Aries